



# 須田っ子

## 第10号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」 SA・SU・GA・DA

### 始める理由

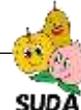
校長

小学生の頃、わたしは海で泳いだり、野球をしたりするのが楽しくて、夏休みの宿題を後回しにしていました。2学期が始まりそうになり、あわてて宿題に取りかかるので、間に合わないこともありました。先生に厳しく指導されたことも覚えています。しかし、あるときに、「やらない理由は分かった。やる理由はなかったのか」と言われ、そういう考え方もあるなど、それからはやる理由を考えるようにしようと思いました。

「遊びが忙しいので宿題をする暇がない」を理由にするのですが、やらない理由は、「眠い」「疲れた」「他にやることがある」など、いろいろと出てきます。しかし、始める理由は自分でつくらないと出てこないものです。

明日から夏休み。1学期いろいろな勉強をしたり、活動をしたりして、4月の頃より力を付けてきた子供たちです。夏休み中もいろいろなことにチャレンジしてくれることと期待しています。そして、夏休み中に付けた力を2学期に発揮してくれるものと思います。

ホームページで毎日子供たちの活躍する姿を紹介してきました。いい姿を見付けに校内を回るのがですが、見付けようとする、見過ごしてしまいそうないい姿に気付くことができます。始める理由と同じように、いい姿を見付けるのも見付けようとしなければだめなのです。2学期も勉強や運動などで、子供たちは力を発揮してくれると思います。わたしは、その姿を見付けることを続けていくつもりです。始める理由を見付けて。



終業式で各学年の代表として発表した子供たちです。写真は4月のものです。

ぼくが一学期頑張ったことは、二つあります。

一つめはマラソンです。ぼくのめあては、一番になることでした。練習のときから、あきらめないで走りました。ゴールしてから、まだ走っている友達がいたら、応援しながら、いっしょに走りました。そして、本番ではめあてを達成できて、よかったです。

二つめは体育です。運動するのが楽しいので、毎日やりたいくらいです。

2学期に頑張りたいことは、二つあります。

一つめは体育で、もっともっと運動することです。

二つめは読書です。本をいっぱい読みたいです。わけは、もっといろんな本を読みたいからです。



1年生

私は4月にめあてを三つ考えました。

一つ目は間違えないように読むことです。よく見て読みました。児童館でも、廊下で大きな声で何回も心を込めて音読をしました。テストも間違えないようによく読んでやったら、100点がとれました。うれしかったです。

二つ目は配り係の仕事のを忘れないでやることです。体温表や連絡帳やノートを毎日たくさん配りました。みんなの役に立ってよかったです。

三つ目は家のお手伝いをすることです。例えば、この前、タマネギとニンジンとジャガイモの皮をむきました。ピーラーでやったら、2mmくらい親指を切ってしまいました。でも、おいしいカレーができてよかったです。

夏休みに楽しみなことは児童館で遊ぶことです。あと、私は生き物が好きなので、育てるのを頑張りたいです。



2年生

私が一学期頑張ったことは二つあります。

一つ目はマラソン大会です。20分休みにたくさん走ったからです。本番では思ったような順位ではなかったけれど、頑張れたのでよかったです。来年はいい順位を取りたいです。そのために毎日走りたいと思います。

二つ目は漢字です。沢山練習したからです。私は漢字は苦手だったけど、たくさん練習したので、前よりも書けるようになりました。二学期も漢字を練習して、漢字のテストを頑張りたいと思います。

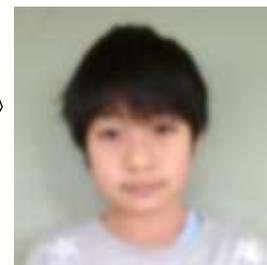


3年生

この一学期は、コロナウイルスのために、あまり外に出かけることができませんでした。家にいることが多かったので、読書をたくさんしました。後で勉強に生かせると思ったからです。学校がある日も、休みの日も読んでいたので、五十五冊読むことができました。夏休みもこの調子で、たくさん本を読みたいと思います。

もう一つ頑張ったことがあります。それは算数です。初めて割り算の筆算を勉強しました。速く、正しくできるように何回も練習して、今は自信がもてるようになりました。夏休みも続けていきたいと思います。

いつもより少し短い夏休みですが、頑張りたいです。



4年生

私が一学期の学習や行事の中で一番頑張ったと思うのは、6月に行われたマラソン大会です。私はもともとマラソンがとても苦手でした。がんばりタイムの5分間走でも、すぐに息が上がり、同じペースで走り続けることがなかなかできませんでした。マラソン大会が近づくにつれ、不安や緊張がどんどん大きくなっていきました。

当日の朝の開会式で、校長先生が「歩いてでも完走すればいい」とおっしゃっていました。私はその言葉で順位ではなく、自分自身の走りに集中すればいいと気付き、気持ちがとても楽になりました。

スタート直後から、自分なりの走りをすることに気を付けました。たくさんの方の応援もあり、ちゃんと最後まで走り切ることができました。

来年はさらに走る距離が伸び、6年生として迎える小学校最後のマラソン大会です。自分の走りを心がけて、来年も完走できるように頑張りたいです。



5年生

私は、一学期に6年生としてこれを意識して生活してきてよかったと思うことを二つ考えました。

一つ目は、きちんと話すことを大切にしようということです。

私は、低学年の人とよく鬼ごっこをして遊びました。その途中、鉄棒の方へ逃げてしまった子に、「鉄棒の方は危ないから通っちゃだめだよ。これからは、気を付けようね。」と、話すことができました。

また、人数が多くなってうまく遊べないときは、6年生でどうするか話し合っ、ルールを決めて遊ぶことができました。それぞれの場面で、低学年の人にも、6年生同士でも、きちんと話すことができました。よかったと思います。

二つ目は、必要なときは自分から「ゆずる」という気持ちをもつようにするという事です。

意見や考えがたくさん出されたとき、自分の気持ちをみんなが押し通そうとすれば、考えをまとめるということではできません。

鬼ごっこのときもそうでした。それぞれの人が、「絶対にこれがいい」と言ったら、遊ぶことができなくなります。そんなときは、私は「自分からゆずろう」と思うことにしました。

私は、この一学期の間、6年生としてこの二つのことを意識しながら過ごしてよかったなと思っています。

二学期は、最高学年として、さらにレベルアップできるようにしたいです。



6年生